



世代を問わず参加 テープ審査→準決勝→決勝

関西で本格的なカラオケコンテスト



高齢化社会の代表的な趣味が「カラオケ」。2009年「第1回読売ファミリー カラオケ歌謡選手権」を企画し、テープ審査、近畿各地で準決勝大会を開き、出場者は歌手顔負けの華やかな衣装で勝負曲を熱唱。最終的には88人が決勝大会の会場「大阪市中央公会堂」で自慢の歌声を披露しました。

大会当日は開場3時間前から観覧客が行列を作り、1100人収容の公会堂は満員になりました。参加者の中にはかなりの実力の持ち主も。今後の活躍なども期待されます。



決勝大会で上位入賞した皆さん



2階席まで超満員に膨れあがった決勝大会の大阪市中央公会堂

読売ファミリー(近畿圏165万部の世帯に確実に配布)とウェブサイトで告知
テープ審査や準決勝、決勝大会の結果も細かく報道!



▲読売ファミリー紙面で大会告知と予選通過者全員の氏名を掲載



▲大会の結果記事



▲専用のウェブサイトで大大会情報を細かく更新

決勝は豪華なゲストと審査員

松井誠、藤原浩によるスペシャル歌謡ショーも
決勝大会では、出演者の歌唱が豪華ゲスト歌手によるスペシャル歌謡ショー。大劇場で1か月公演の座長を務める役者で歌手の松井誠と遠藤実の最後の弟子といわれる藤原浩が熱唱。



松井誠



藤原浩

審査員



決勝審査委員長
叶弦大
(日本作曲家協会常務理事)



決勝審査副委員長
準決勝特別審査員
聖川湧
(日本作曲家協会理事)



準決勝審査委員長
奥村英夫